

令和3年度 第一回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和3年6月11日（金）

2 主な協議内容

- ・都区間の3つの協議事項について都側から現状説明後、質疑。
- ・都は、千客万来施設の設計内容や、国の交通政策審議会陸上交通分科会鉄道部会の下に設置された「東京圏における今後の地下鉄ネットワークのあり方等に関する小委員会」における議論の内容等について説明。

(1) 土壌汚染対策について

区側	都側
・地下水質調査における専門家の評価にある「濃度が上昇傾向を示した」とはどのような内容か。	・モニタリングの測定値の比較であり、微増を示した地点もあれば、微減もある。全体的に見れば、大きく変化した傾向は確認できないと専門家は評価している。
・安全・安心の観点から、土壌汚染対策を含めた市場の状況を、わかりやすく広報していただきたい。	・市場全体のPRの中で、区とも連携しながら、わかりやすい情報発信を検討していきたい。
・地下水位上昇抑制対策の試行について、工事の進捗状況はいかがか。また、有効性に対する見解をうかがう。	・本年7月中の完成に向けて、工事を進めている。 ・完成後、有孔管による集水の状況をモニタリングし、有効性を確認していく。

(2) 千客万来施設事業等について

区側	都側
・設計内容について、概ね事業者決定時点の提案内容に基づいているとのことだが、変更された部分はあるのか。	・主な変更点としては、地下水管理システムの関係で地下2階から地下1階にした点と、全体の見直しの中でホテル棟の階数を1フロア縮小した点、市場業者の事務所利用を想定した貸事務所をホテル棟に設置した点である。
・建築確認後の工事の本格化に向けたスケジュールを教えてほしい。	・昨年10月から工事事務所の設置や測量等を行ってきた。建築確認の下付に伴い、現在、杭の製作に向けた準備に着手するなど順次進めている。引き続きスケジュールどおり開業できるよう事業者と調整していく。

(3) 交通対策について（地下鉄8号線の延伸）

区側	都側
・豊洲駅は、8号線用の線路を潰してホームを広げているのが現状であるが、技術的検討に関する勉強会の中で、豊洲駅の改良の必要性などについて検討を行う予定はあるのか。	・これまで、技術的検討に関する勉強会では、全体計画の根幹になる本線部、難工事が想定される東陽町駅、今回は住吉駅の検討を行った。豊洲駅について次回の勉強会で検討を行うかは決まっていないが、国や東京メトロと相談しながら、勉強会を進めていく。
・6月に予定される東京メトロの株主総会では有価証券報告書が示されるが、交通政策審議会の小委員会での議論が内容に反映されるのか。	・都としては、株主総会において、東京メトロに対し、交通政策審議会の小委員会での議論を踏まえた対応を求めることを考えている。